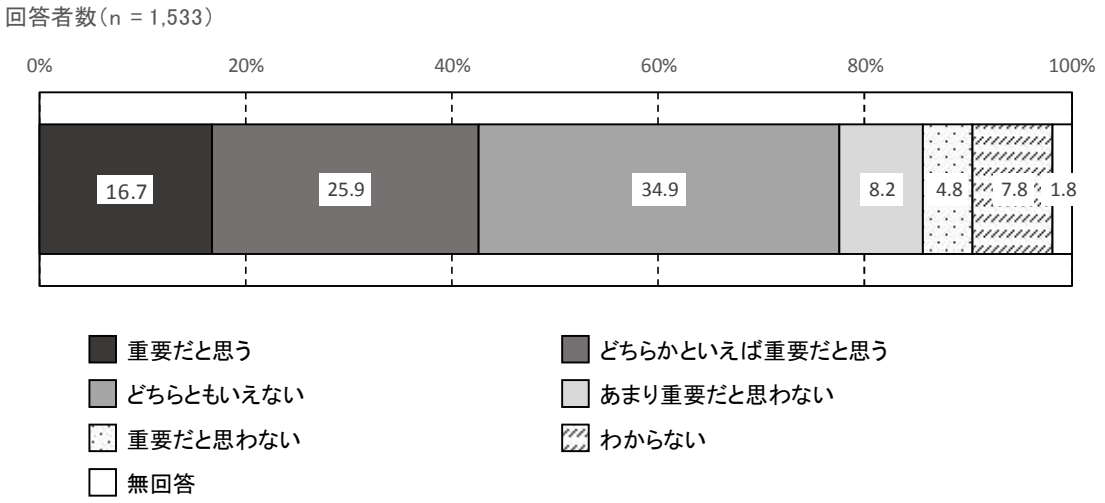
問１８　在住外国人との共生

問１８　現在、県内では、多くの外国人が暮らし、定住化が進んでいます。あなたは、在住外国人と共生する社会の実現についてどう思いますか。（１つだけ）

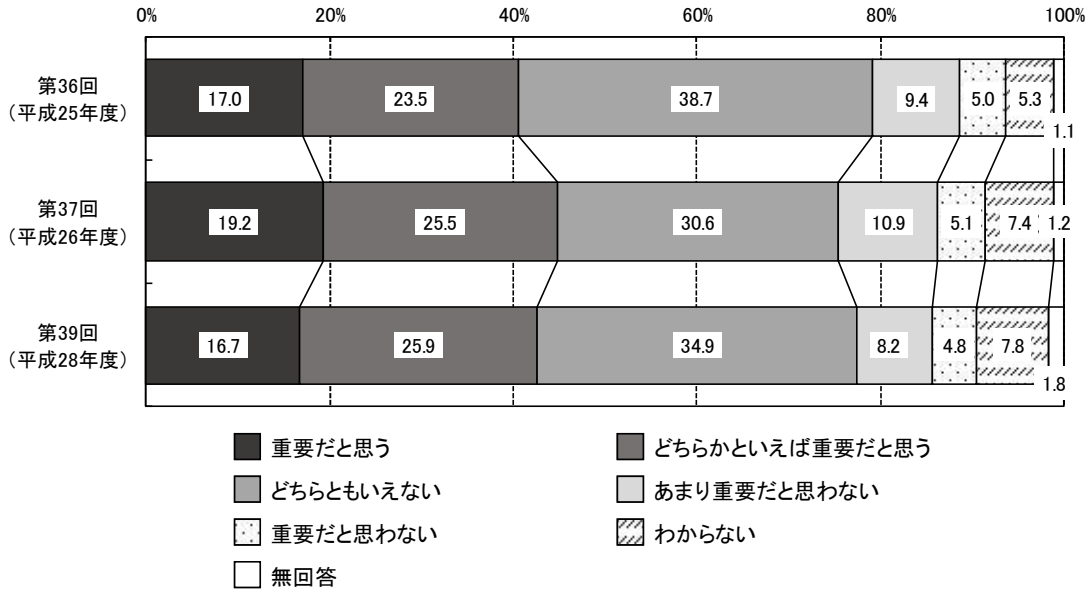
全体（図 18-1）でみると、「どちらともいえない」が 34.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば重要だと思う」（25.9%）、「重要だと思う」（16.7%）の順となっている。

図 18-1 在住外国人との共生



第 36 回・第 37 回調査比較（図 18-2）でみると、第 37 回と比較して「重要だと思う」が 2.5 ポイント減少しており、「あまり重要だと思わない」が 2.7 ポイント減少している。「どちらともいえない」が 4.3 ポイント増加している。

図 18-2 【第 36 回・第 37 回調査比較】 在住外国人との共生

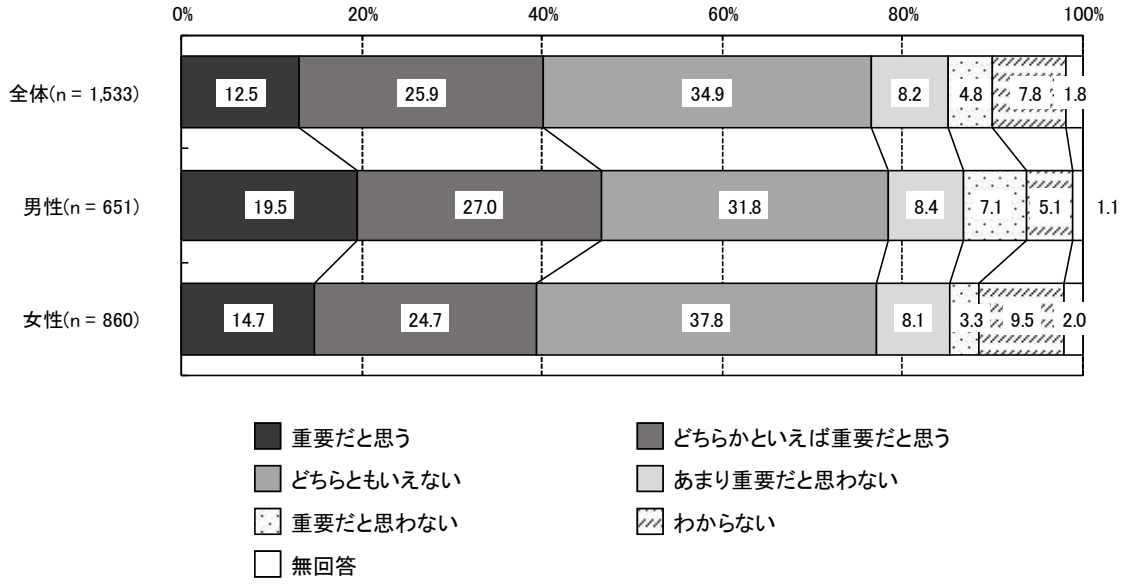


※ 第 38 回調査では、『在住外国人との共生』は聞いていない。

※ 第 36 回調査では、選択肢が「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」「どちらともいえない」「あまりよいことだと思わない」「よいことだと思わない」「わからない」であった。

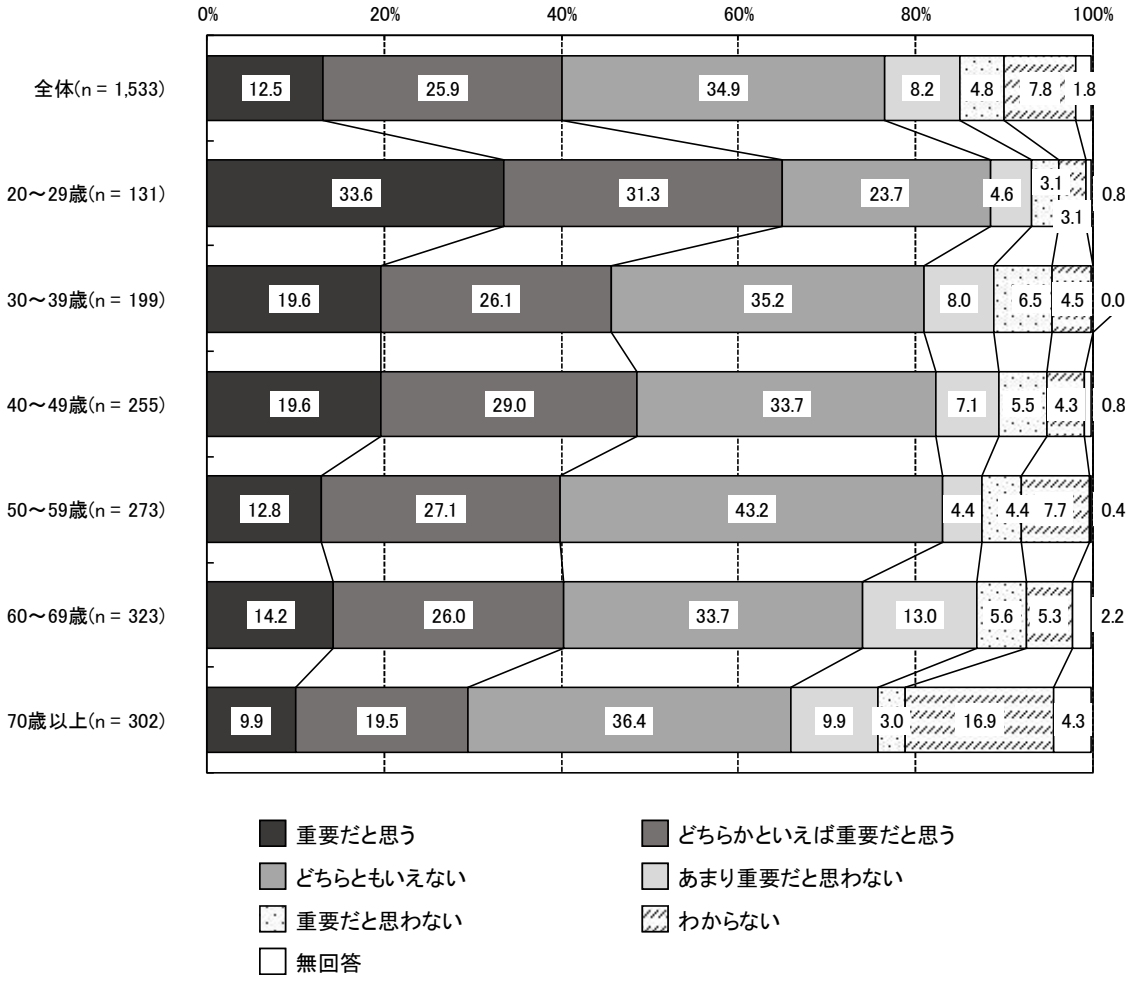
性別（図 18-3）でみると、「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」を合わせた肯定派は男性が 46.5%、女性が 39.4%で、男性が女性より 7.1 ポイント高くなっている。

図 18-3【性別】在住外国人との共生



年代別（図 18-4）でみると、「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」を合わせた肯定派は 20 歳代が 64.9%と最も高く、70 歳以上は 29.4%と最も低くなっている。

図 18-4 【年代別】 在住外国人との共生



居住圏域別（図 18-5）でみると、「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」を合わせた肯定派は飛騨圏域が 50.0％と最も高く、西濃圏域が 38.9％と最も低くなっている。

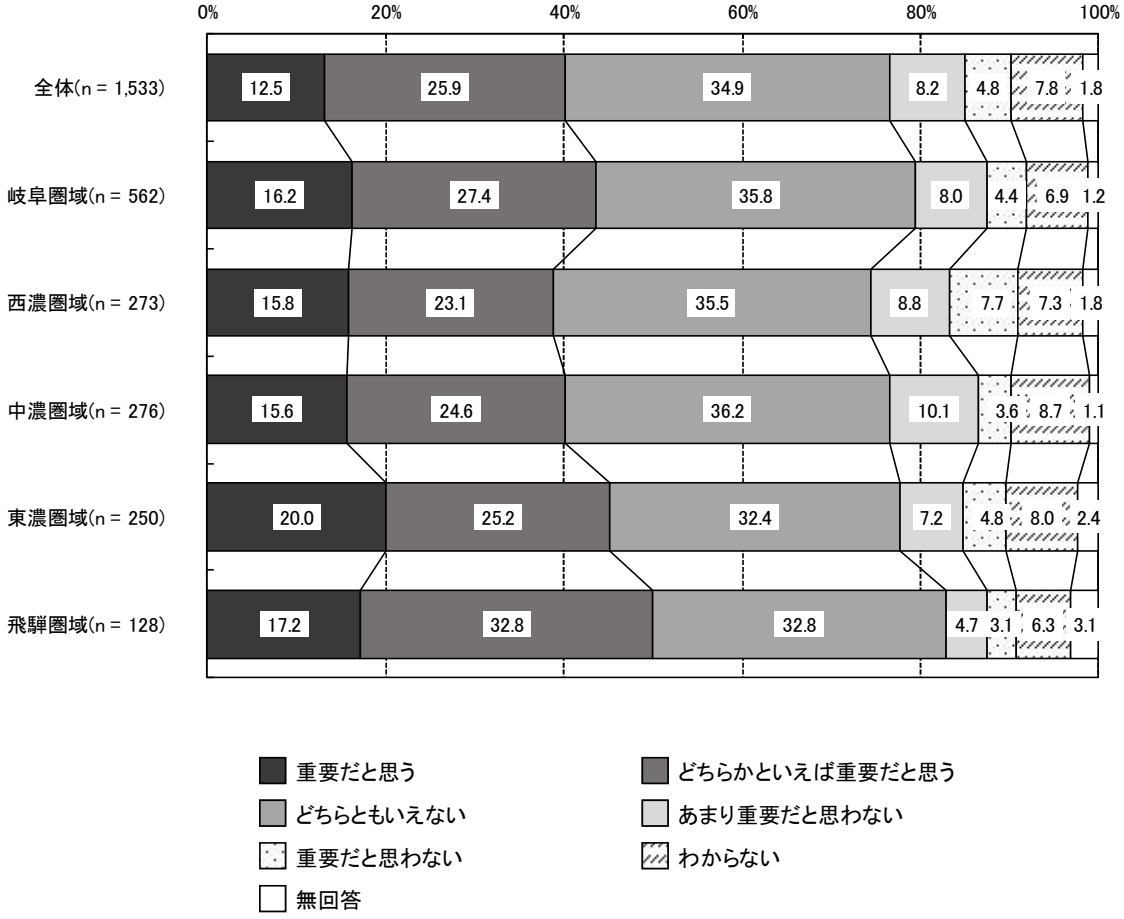



図 18-5 【居住圏域別】 在住外国人との共生